

地域社会学会会報

No.236 2023.11.21

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒480-1198 長久手市茨ヶ廻間 1522-3 愛知県立大学教育福祉学部
松宮朝研究室内

TEL 0561-76-8706(直) FAX 0561-64-1107 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

◆…………… 〈 会報 236 号のトピック 〉 ……………◆

2023 年度会費納入をお願いします。2023 年度より SMOOSY によるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

目次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 事務局からの報告
5. 事務局からのお知らせとお願い
6. 会員異動
7. 会員の研究成果情報
8. 理事会のご案内

2023 年度 第 3 回研究例会のご案内

日時 2023 年 12 月 9 日 (土) 13:30~16:30

会場 立命館大学衣笠キャンパス・存心館 204 教室+Zoom でのハイブリッド方式

※アクセス方法等は、開催 2 日前をめぐに、会員メーリングリストで配信します。

【報告】

菰田レエ也 (鳥取大学地域学部、非会員)

「サードセクター研究における複雑性」 (仮)

地域社会学会 50 周年記念事業「地域社会学を振り返る」 (3)

岩崎信彦 (神戸大学名誉教授)

曖昧語「地域 region」と「コミュニティ community」はどのように深化したのであろうか
—地域社会学会 50 年と私—

12月9日(土)開催の第3回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1.会場にお越しのみなさま

会場:立命館大学衣笠キャンパス

教室:204 教室(存心館 2階、時計台のある建物)

※当日、存心館の外内に案内板を設置するため、それをご覧いただくようにお伝え下さい。



【会場へのアクセス】

下記 URL をご参照下さい。

<https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

◎大学 HP にわかりやすい近辺地図が掲載されていないため、Google マップ等で下調べをしていただくようお願いいたします。

◆土曜日は、JR 京都駅からの快速バスがなく、金閣寺に行く観光客で混み合う可能性があるため、ご注意ください。

◆なお、JR 京都駅からそのまま嵯峨野線に乗り換えて、「円町」駅で下車し、西大路通を北上するバスに乗ることも可能です(この場合の乗車時間は少なく済みます)。

◆あるいは、嵯峨野線の「太秦」駅で下車し、京福電鉄北野線(嵐電)の「撮影所前」駅まで徒歩で移動して乗り換え、「等持院・立命館大学衣笠キャンパス前」駅で下車して歩くことも可能です(この場合はバスに乗らずに済みます)。

◆市バス・JRバス「立命館大学前」で下車する場合は正門、市バス「衣笠校前」で下車する場合は東門、嵐電「等持院・立命館大学衣笠キャンパス前」駅で下車する場合は南門が近くなります。

2. オンラインでの参加のみなさま

<事前の準備のお願い>

- ◆事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめぐり、会員メーリングリストで配信します。
- ◆Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

<当日のお願い>

- ◆待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

<配布資料について>

- ◆報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

<質問・発言について>

- ◆以下のいずれかの方法でお願いいたします。
- ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
- ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
- ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

<Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

<当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇メールアドレス matumiya[アット]ews.aichi-pu.jp [アット]を@にしてください。
- ◇当日配布資料の再配布はありません。

<問い合わせ先>

- ◆当日の Zoom 操作に関する以外、研究委員長（清水洋行、hishimizu [アット]chiba-u.jp)までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

1. 理事会からの報告

(1)2023 年度第 2 回理事会報告

2023 年度地域社会学会第 2 回理事会は、2023 年 10 月 14 日（土）の 10 時 30 分から 12 時 20 分まで、早稲田大学（ハイブリッド）で開催されました。出席者は以下の通りです。

出席（15 名、敬称略）：浅野慎一、伊藤亜都子、小山弘美、佐藤洋子、清水洋行、高木竜輔、田中里美、玉野和志、中澤秀雄、船戸修一、松木孝文、松宮朝（記録）、町村敬志、望月美希、吉野英岐

理事会では、報告事項 7 件、審議事項 7 件が議論されました。

●2024 年度第 49 回大会

2024 年 5 月 11～12 日、滋賀県立大学で開催することが決定しました。

●2023 年度研究例会

下記の日程について決定しました。内容については決まり次第、HP でご案内します。

第 4 回研究例会：2 月 11 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分
東京大学+ZOOM でのハイブリッド

●GEAHSS（人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会）への入会

GEAHSS への入会が理事会で審議され、入会を決定しました。

その他の審議事項の詳細については、各委員会報告をご覧ください。

（松宮 朝）

2. 研究委員会からの報告

去る 10 月 14 日（土）に 2023 年度第 2 回研究例会が、早稲田大学戸山キャンパスにてハイブリッド形式にて開催されました。対面参加が 19 名、オンライン参加が最大時で 24 名、合計 43 名でした。今回の畑山直子会員による研究報告「地方移住者が遭遇する地域の衰退と縮小—若者の移住経験からみる地方移住の現在—」は、2023 年度の研究テーマにもとづく初めての報告でしたが、終了予定時間をオーバーするなど活発な質疑応答が交わされました。当日の報告の概要は『地域社会学会ジャーナル』第 13 号の報告論文と批評論文をご参照ください。当日の会場および機材等の手配・準備にあたり、嶋崎尚子会員にご尽力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

研究委員会では、第 2 回研究例会の結果をふまえ、第 4 回研究委員会を 11 月 21 日（火）にオンラインにて開催し、2024 年 5 月の大会シンポジウムの骨子と登壇候補者等について検討を行ないました。第 4 回研究委員会の参加者は以下の通りです（敬称略）。小山弘美、阪口毅、高木竜輔、田中里美、前島訓子、西野淑美、吉村真衣、清水洋行。

次回の第 3 回研究例会では、菰田レエ也氏（鳥取大学・非会員）に会場から報告していただきます。社会的企業論、サード・セクター論、社会的連帯経済論等にもとづき、就労支援や地域づくりほかの研究に取り組まれています。今回は、セクター横断的な動きへのアプローチを手がかりに、モビリティ論における「複雑性」を伴う動きを捉える視点について検討できればと考えています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

（清水 洋行）

3. 編集委員会からの報告

8月7日に第2回編集委員会を、10月12日に第3回編集委員会をオンラインで開催しました。第2回編集委員会では、書評本の選定を行い、それぞれの担当者に原稿執筆を依頼しました。また書評リプライについても著者からの快諾を得ました。第3回編集委員会では、9月末締切で8本の自由投稿論文の提出があり、査読担当者を決定しました。お忙しいなか、査読をお引き受けくださった会員の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

(船戸 修一)

4. 事務局からの報告

(1) 会費納入状況

2023年10月11日時点の会員は総数381名（一般338名 院生24名 終身19名）で、2023年度まで納入済 215名（56.3%）未入金167名でした。
3年滞納者は現時点では5名です。

(2) 会報235号・ジャーナルNo.12の発行

学会HP上で会報235号とジャーナルNo.12が発行されました。

(松宮 朝)

5. 事務局からのお願いとお知らせ

(1) 2023年度会費納入のお願い

2023年度の会費納入をよろしくお願ひします。

納入の状況について、<https://jarcs.sakura.ne.jp/information.html>よりご確認お願ひ申し上げます。

上述の通り、今会計年度からはSMOOSYによる納入をお願いしております。何卒よろしくお願ひ申し上げます

(2) 会員の研究成果情報の提供のお願い

2022年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会WEBサイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしくお願ひします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

(松宮 朝)

6. 会員異動（敬称略）

<新入会員>

内野 海平（一橋大学大学院）

田中 佑典（立教大学大学院）

(以上、2023年10月14日理事会で承認)

7. 会員の研究成果情報(2022年～2023年)

なし

8. 理事会のご案内

第3回理事会

日時 12月9日（土）10：30～12：30

立命館大学キャンパス+ハイブリッド